

平成28年度 徳島県立城北高等学校 学校評価 総括評価表

重点課題	重点目標	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と改善方策	
		評価指標と活動計画	評価			
生徒の視点に立った「わかる授業」と家庭学習の充実	全校レベル	評価指標	評価指標による達成度 総合評価・所見			
	1 学習指導の充実 ・生徒の学習意欲を喚起し、主体的に学習する習慣の定着を図る。 ・基礎・基本の確実な定着と応用力の育成及び個性を生かす教育の充実を図る。	[教務課] ・生徒の進路希望に沿った選択科目の開講及び少人数授業の充実 [進学課] ・家庭学習時間 学年+1時間 ・早期補習 年間100回以上実施 ・早期補習 出席率95%以上 [学力向上委員会] ・授業公開 年2回以上 ・授業見学 年3回以上 ・生徒の授業への満足度80%以上 [学校改革推進委員会] ・研修会の実施 年2回以上 [学年] ・基礎・基本となる力の定着 ・自主学習時間の確保 ・上記を組織的に指導するため、担任会の充実、各学期に2回以上の学年集会実施				
	下位組織レベル	活動計画の実施状況				
	[進学課] ・学習習慣の定着 ・部活動と学習の両立 ・基礎学力の向上 [学力向上委員会] 1) 授業力の向上 [学校改革推進委員会] ・授業力向上のための研修会 [学年] ・課題(日々のプリント、週間プリントなど)の有効利用 ・予習→授業→復習のサイクルを習慣化し、学習内容の定着	[進学課] ・「学習の日」の設定と学習時間調査の実施 ・早期補習の充実 [学力向上委員会] ・公開授業の実施 ・授業評価アンケートの実施 [学校改革推進委員会] ・大学新入試に対応する力を身につけるための研修会の案内と実施 [学年] ・課題の確認 ・「なぜば成るノート」で学習時間を確認し、生徒一人ひとりに徹底させる。 ・「なぜ成るノート」を活用した面談を年間5回以上				

平成28年度 徳島県立城北高等学校 学校評価 総括評価表

重点課題	重点目標	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と改善方策	
		評価指標と活動計画	評価			
生徒の視点に立った「わかる授業」と家庭学習の充実	全校レベル	評価指標	評価指標による達成度 総合評価・所見			
	1 学習指導の充実 ・生徒の学習意欲を喚起し、主体的に学習する習慣の定着を図る。 ・基礎・基本の確実な定着と応用力の育成及び個性を生かす教育の充実を図る。	[教科] 1) 国語 ①日々の課題の提出率90% ②小テスト内容の定着度95% 2) 地歴・公民 ①小テストの正答率80% ②小テストの定着率95% 3) 数学 ①週プリントの提出率90% ②週明けテストの実施と再テスト合格率100% 4) 理科 ①実験・観察等を取り入れた授業を年間3回実施。 ②ノートや課題等の提出90%、小テスト等の実施。 5) 英語 ①各提出物の提出率90% ②語彙力・文法力小テストの正答率 70%以上				
	下位組織レベル	活動計画の実施状況				
	[教科] ○基礎・基本の徹底と定着 ○学習指導法の改善 1) 国語 ・言語に関する知識・理解の深化 ・特に読む・書く力の向上 2) 地歴・公民 ・わかる授業の実践 ・基礎基本の徹底 3) 数学 ・基礎・基本の徹底 ・思考力の育成 4) 理科 ・自然について探究する能力と態度を育成し、科学的思考力を養わせる。 5) 英語 ・家庭学習習慣を身につけさせ、基礎・基本事項を定着させる。	[教科] 1) 国語 ①日々の課題の配布と確認 ②古典の毎時間の小テストの実施 2) 地歴・公民 ①小テストの実施(週に1回程度) ②模試の過去問に取り組ませる。 3) 数学 ①週プリントの配布と確認 ②週明けテストの実施 ③模試の過去問に取り組ませる。 4) 理科 ①実験・観察のレポート作成により、考察する力を養成。 ②ノート整理や復習を通して、基礎・基本の定着。 5) 英語 ①語彙・文法・読解の課題を与え、定期的に小テストを実施し、事後指導をする。				

平成28年度 徳島県立城北高等学校 学校評価 総括評価表

自己評価			学校関係者評価		次年度への課題と改善方策
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	
生徒個々の進路希望を実現するための情報提供及びキャリア教育の推進	全校レベル	評価指標 〔進学課〕 ・進路への興味関心を喚起し、将来を見据えた望ましい職業観・勤労観を養う。 ・生徒の多様な能力、適性、進路希望に応じた、系統的・組織的な進路指導に取り組む。	評価指標による達成度	総合評価・所見	
	下位組織レベル	活動計画			
	〔進学課〕 ・進路選択に関する生徒・保護者への情報提供の充実 ・全教職員が一丸となった組織的かつ手厚い進路指導の実施 〔就職課〕 1) 就職への情報源として説明会や職場見学に加えてインターネットの活用をはかる。 2) 生徒のキャリア教育推進のための校外体験を推進する。	〔進学課〕 ・学年やPTAと連携した進路保護者会や進路集いを学年毎に開催 ・進路だよりを定期的に発行 ・1、2年進路指導と3年生受験指導に教職員全員で取り組む 〔就職課〕 1) 6月に公務員説明会、7月に自衛官説明会を実施する。公務員模試を4月、5月、6月と実施する。 2) ハローワーク提供の高校向けインターネット求人情報を最大限に利用する。 3) 夏休み期間中に本校主催のインターンシップを実施するために、希望する職種に合う事業所を開拓する。 4) キャリア教育を推進するために生徒対象に講演会を実施する。			

平成28年度 徳島県立城北高等学校 学校評価 総括評価表

自己評価			学校関係者評価		次年度への課題と改善方策
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	
規範意識の一層の向上とルールを守りモラルやマナーを大切にしている心、いじめを許さない心の育成	全校レベル	評価指標 〔生徒指導課〕 1) モラルやマナーの指導を通じ、学校全体で社会規範意識の育成に努める。 2) 交通事故を前年に比べ10%削減(H27年-12件) 3) いじめを許さない指導。	評価指標による達成度	総合評価・所見	
	下位組織レベル	活動計画	活動計画の実施状況		
	〔生徒指導課〕 1) マナー指導の強化 ① 頭髪服装指導の強化 ② 言葉遣いや職員室での態度を改善 ③ 校内における携帯電話の使用法の改善 2) 安全教育の徹底 3) いじめ調査アンケートの実施と活用	〔生徒指導課〕 1) 学校行事や学年集会の際に実施するとともに、日常的に随時行う。 2) 交通安全講話の実施 ① 学期ごとに一斉指導を実施 ② クラスごとに1回の交通安全ホームルーム活動を実施 ③ 学年集会等での注意喚起 3) 7月・3月にいじめ調査アンケートを実施し、現状を把握するとともに担任面談等に活用する。			

平成28年度 徳島県立城北高等学校 学校評価 総括評価表

自己評価			学校関係者評価		次年度への課題と改善方策
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	
豊かな心を育み、幅広く調和のとれた人材の育成と人権教育活動の充実	全校レベル	評価指標 〔人権教育課〕 1) 生徒の人権ホームルーム活動に対する評価 A 2) 人権啓発紙の年間発行回数12回以上 3) 「人権関連学校行事」に対する生徒の評価 A 4) 各教科における人権学習・人権教育を計画的に実施 5) 生徒対象の人権教育講演会などを年2回以上実施 6) 全体の人権教育職員研修会を年間3回以上実施	評価指標による達成度	総合評価・所見	
	下位組織レベル	活動計画	活動計画の実施状況		
	〔人権教育課〕 1) 高学研大会に向けて、HR活動の充実 2) 啓発企画紙の充実 3) 人権集会・人権ウィークスへ向けての取り組みの充実 4) 各教科における人権学習・人権教育の推進 5) 生徒対象の人権教育講演会の実施 6) 人権教育教職員研修会の充実	〔人権教育課〕 1) 各クラスの状況に合わせて資料を集めて選択し、展開を工夫する。 2) 人権啓発紙を年12回以上発行する。 3) 人権集会・人権ウィークスに向け、4月から取り組み、内容の充実した展示を行う。 4) 年度当初に立てた計画に従って人権学習・人権教育を実施する。 5) 人権教育に関する講演会・映画会を年2回以上実施する。 6) 全体の人権教育職員研修会を年間3回、学年別の研修会を各学年で年1回以上実施する。			

平成28年度 徳島県立城北高等学校 学校評価 総括評価表

重点課題	重点目標	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と改善方策
		評価指標と活動計画	評価		
部活動のさらなる活性化を図るとともに、生徒会や各種委員会の諸活動を充実する。	全校レベル	評価指標	評価指標による達成度 総合評価・所見		
	5 特別活動の充実 ・生徒の主体的運営を基本として、各種活動に取り組むことのできる学校行事、生徒会活動の充実を図る。 ・部活動を充実・活性化させ、生徒の精神面、体力面での成長を図るとともに、団結心や協力を育成する。	【特別活動課】 1) 部活動入部率90%以上、部活動の教育貢献度について、教職員・保護者・生徒の評価A 2) 生徒会広報の発行等により、生徒会や各種委員会の活動をPRする。生徒会活動・各種委員会活動について、教職員・生徒の評価A 3) 球技大会や城北祭の学校行事について教職員・生徒・保護者の意見を取り入れ、効率化と活性化を図る。教職員・生徒の評価A			
	下位組織レベル	活動計画	活動計画の実施状況		
	【特別活動課】 1) 部活動連絡協議会を開催とより一層の部活動の活性化を図る。 2) 生徒会活動についての積極的広報と生徒会活動への理解と協力を促す。 3) 各種委員会の活性化を図る。 4) 球技大会・城北祭の活性化を図る。	【特別活動課】 1) 部活動連絡協議会を年間3回開催し、部員自らの取り組みによる、部活動の活性化を図る。 2) 生徒会が中心となって学校行事への参加を促進し、活動の活性化を図る。また生徒会新聞を発行し、活動を生徒や保護者にアピールする。 3) 各種委員会活動を活性化し、生徒が主体的に学校生活に取り組めるようにする。 4) 生徒会役員を中心に球技大会・城北祭の準備委員会を組織し、企画運営にあたる。			

平成28年度 徳島県立城北高等学校 学校評価 総括評価表

重点課題	重点目標	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と改善方策
		評価指標と活動計画	評価		
環境問題の理解と身の回りの環境美化実践および防災意識の啓発	全校レベル	評価指標	評価指標による達成度 総合評価・所見		
	6 安全・環境防災の推進 1) 校内環境を整え、公共心や豊かな情操を育成する。 2) 環境にやさしい学校を目指し、エネルギーの利用や物品の使用を効果的にする。 3) 災害発生時に適切な対応ができる防災体制作りを努める。	【環境防災課】 1)、2) 新学校版環境ISO中間報告会での評価Aを目指す。 3) 年間に防災避難訓練を1回、机下避難訓練を2回実施する。防災クラブの活動を進める。			
	下位組織レベル	活動計画	活動計画の実施状況		
	【環境防災課】 1) 環境委員を中心としてさまざまな活動を通して意識啓発をする。 2) 生徒会と環境委員を中心として啓発を推進する。 3) 防災委員活動を通して、知識や実践力を身につける。	【環境防災課】 1) クリーンキャンペーンを年間2回、保護者・生徒・職員組織で年1回除草清掃作業を行う。 2) ゴミ分別や節電・節水・紙の3R活動を推進する。 3) 防災研修会への参加や防災に関する学校行事を行う。防災クラブ活動を進め、防災掲示板等による啓発も進める。			

平成28年度 徳島県立城北高等学校 学校評価 総括評価表

重点課題	重点目標	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と改善方針
		評価指標と活動計画	評価		
運営組織の活性化と教職員研修の充実	全校レベル	7 学校の運営体制の充実 ・教職員一人ひとりが学校経営の当事者意識を持ち、課題解決のために組織的に取り組む。 ・研修体制の充実を図り、コンプライアンスの推進と、リスクマネジメントの意識を培う。	評価指標による達成度	総合評価・所見	
	下位組織レベル	活動計画	活動計画の実施状況		
		[企画広報課] 1)情報セキュリティ研修を含め、年10回以上の注意喚起を行う。 [コンプライアンス委員会] 1)職員会議や職員朝礼などの機会をもとらえて全職員に対し年間15回以上の啓発・研修を行う。 2)コンプライアンスに関する相談体制を確立・周知する。 3)予想される様々なリスクに対する危機管理体制(報告・連絡・相談)を確立し周知する。 [保健厚生課] 1)教職員対象の救急救命講習を年1回実施する。 [教育相談課] 1)特別支援の対象となる生徒の指導について、校内で共通理解を図る。 2)学校生活を営むにおいて心配な生徒一人ひとりについて校内での共通理解を図るため、担任アンケートと情報共有するための会議を開催する。教員評価A			
		[企画広報課] 1)職員のセキュリティ意識の向上 [コンプライアンス委員会] 1)職員研修の充実・徹底 2)職員間の情報交換を密にし円滑なコミュニケーションが図れる職場環境作り 3)危機管理体制の確立と周知 [保健厚生課] 1)教職員対象の救急救命講習会の充実 [教育相談課] 1)特別支援を要する生徒や学校生活が困難な生徒へのケアを図る。			
		[企画広報課] 1)毎月1回程度の注意喚起を行う。 [コンプライアンス委員会] 1)年間2回以上の推進期間及び随時適切な機会を設けて、バランスのとれた研修や啓発を図る。 2)相談体制を整えて学校全体でのサポート体制を作る。 3)危機管理に関する具体的な事例に基づく研修を行う。 [保健厚生課] 1)教職員対象の救急救命講習会を1学期に実施する。 [教育相談課] 1)教育相談研修を年1回以上実施する。 2)不登校認定の依頼がある場合は特別支援教育委員会を開催して、現状について確認、今後の支援について話し合う。			

平成28年度 徳島県立城北高等学校 学校評価 総括評価表

重点課題	重点目標	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と改善方針
		評価指標と活動計画	評価		
学校外との交流・連携やHPIによる広報活動のさらなる活性化とボランティア活動を支援する校内組織づくりの推進	全校レベル	8 開かれた学校づくりの推進 ・学校評価を充実させ、保護者や地域から信頼される開かれた学校を目指す。	評価指標による達成度	総合評価・所見	
	下位組織レベル	活動計画	活動計画の実施状況		
		[学校評価委員会] 1)保護者学校評価アンケートの回収率75%以上 [企画広報課] 1)ホームページを月20回以上更新する。 [国際交流課] 1)各課、各教科等の円滑な連携と協力体制を整え、交流事業を充実させる。 [特別活動課] 1)ボランティア活動への積極的な参加を呼びかけ、延べ100名以上の参加を図る。 [総務課] 1)各種PTA活動を活性化させ、広報活動を充実させる。 2)業務を円滑に遂行する。			
		[学校評価委員会] 1)学校全体で評価目標の見直しをするよう呼びかけ、取り組みの充実を図る。 [企画広報課] 1)ホームページ更新について、部の顧問や課長を支援し、より迅速な情報の提供を行う。 [国際交流課] 1)姉妹校交流等で得た経験や知識を広く周知し、生徒および教職員一人一人が関わることのできる交流とし、内容を充実させる。 [特別活動課] 1)全校生徒並びに教職員へボランティア活動への積極的な参加を呼びかける。 [総務課] 1)PTA活動における各種連絡調整や企画提案を行う。 2)城北祭や卒業式での渉外業務を行う。			